

編集後記

本号巻頭言で神戸大学教授の田中剛先生に『梁端接合部の溶接施工—これまでの経緯とこれからの課題—』と題して、兵庫県南部地震時に発生した梁端接合部の破断に関して、これまでの研究の経緯と今後の溶接施工に関する課題についてご教示をいただきました。近年の鉄骨造建物に用いられる鋼材の高強度化や厚板化に伴い、溶接施工技術の重要性が注目される中、弊社も施工試験など積極的に取り組んでいきたいと考えておりますので、今後も引き続きご指導していただければ幸いです。田中先生におかれましては大変お忙しい中、執筆を快く引き受けていただき、誠に有難うございました。編集担当者として誌面を借りしまして厚く御礼申し上げます。

本号表紙には、橋梁、建築鉄骨、及び環境事業の代表的な写真を掲載しました。つぎに当年度に完成いたしました弊社事業を簡単に紹介しております。報文につきましては、橋梁において都市高速道路での既設 RC 床版の更新工法の開発、建築鉄骨において厚板に対して 1 パス SAW 工法に関する研究報告および橋梁・環境事業の工事報告などを紹介しております。

最後に執筆者をはじめ多くの方々のご協力をいただき無事に発刊することができました。編集員一同、誌面をお借りして厚くお礼申し上げます。

(橋 肇)

駒井ハルテック技報 作成関係委員 (50音順)

技術委員会	委員長：富本 信	副委員長：江頭 慶三				
	委員：板垣 定範	小林 光博	高尾 智之	高橋 順一	橋 肇	
	細田 直久	丸山 忠明	村上 佳市			
	事務局：本間 順					
編集WG	WG長：橋 肇	副WG長：板垣 定範				
	幹事：江頭 慶三	小林 光博	高尾 智之	細田 直久		
	委員：東 博年	岡田 靖夫	重田 光則	高 良人	高橋 秀樹	
	豊田 玲子	中原 勤	中本 啓介	村上 健二	森川 友記	

駒井ハルテック技報 Vol.9 2020

発行：2020年1月

発行所：株式会社駒井ハルテック

〒110-8547 東京都台東区上野一丁目19番10号

<http://www.komaihaltec.co.jp/>

印刷：株式会社シップス

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台404番1号

<http://www.cips-k.com/>

©株式会社駒井ハルテック (禁無断転載)